令和５年度の教育活動等に対する学校評価書

令和６年２月９日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長　吉野　友勝
学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長　永田　雅一

１　幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の５項目を掲げる

１．丈夫な体を持つ子どもに
２．感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに
３．豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに
４．頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに
５．よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

２　本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

３　**自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果

（※評価点は、Ａ（十分に成果があった）・Ｂ（成果があった）・Ｃ（少し成果があった）、Ｄ（成果がなかった）の段階で表すこと。）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	B	・昨年の継続にならない学年になると、計画や声掛けを変更していくのが大変だった。 ・自分のアイデアをもっと増やせたらよかった。 ・的確につかもうとしていたが、見えていない点もあった。 ・昨年の反省と本年度の子どもの様子を加味しながら様々な見直しをしている。	B	・子どもは変化していくので前任者からの引継ぎが大事です。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	・各種行事を通して、頑張る心が育っている。 ・静の時間を作り、集中できる環境の中で聞く姿勢が自然に身につく。 ・こまめな声掛けを大事にし、目的に近づくようにしている。	A	・各種行事の様子から、頑張る姿・集中する姿がわかります。親に見守られていることも大きな要因でしょう。 ・教室では全員が集中できていると感じました。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	・担任だけでなく、職員間でも子どもの様子を共有し、良い点や成長を認めあっている。	A	・子どもの様子を教師間で情報共有し、それらを踏まえた指導は、子どもののびしろにつながります。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができている。	B	・集団遊び、勝敗のある遊びは、協力性・他者との関わりを広げ、体験による学びが多く、様々な考えや工夫が見られた。	A	・グループに分かれての活動を見ていると、それぞれが特技を出し協力し合っている姿はほほえましい。 ・協力性が育ちます。

・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	・大事な事・基本になる事は、繰り返しの声掛けで意識させ定着しつつある。 ・家庭での生活の方が長いので、保護者にも声を掛けていきたいが、思い通りにはいかない。	B	・性格や家庭に違いがあるのでまとめるのは大変だと思います。工夫が必要です。
・全職員が年に１回以上公開保育を参観し、研修する。	A	・他者の保育から学ぶことが多い。 ・見学してもらうことで自分の保育について様々な意見をもらえる。	A	・先生たちのアイデアに感心します。 ・他者から学ぶことは多い。 ・子どもたちの未来のために参観してほしい。
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	A	・研修は学ぶことが多く、お互い研修内容を発表しあうことで、幅広い研修になっている。	A	・すばらしい研修になっています。習得と反省は自身の伸びにつながります。
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	・園児数が少なく、目が行き届いている。 ・より丁寧な保育ができている。	A	・先生方の丁寧な温かい保育ができています。
・教員間の協力的な指導ができている。	A	・職員間の情報共有ができている。 ・園児数の減少できめ細かい連携ができる。 ・気になる子どもへの援助については、もう少し工夫が必要。	A	・職員間の協力は組織の基本です。
・保護者の実情や要望による預かり保育ができている。	A	・朝の預かり実施・長期休み中の預かり日数の増加等で改善が進んでいる。	B	・良い環境だと思います。 ・先生方の労働時間の調整・配慮が大切です。

・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	B	・それぞれのおたよりにその持ち味が出ている。 ・チラシも工夫がされ目を引く。 ・ホームページも以前よりずっと改善されているが、写真の更新はもっとまめにした方がよい。 ・他園ではインスタグラムの利用が多い。また動画も利用されている。 ・ネット中心の社会に応じた方法が必要。	B	・年長でグループを決め、季節の変化・友だちや小さい子の様子等を動画撮影させ、園児もまじえて編集し、ホームページに載せる。そんな試みもあってもよいように思います。 ・先生方の日々の努力もよくわかります。
・季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	A	・行事で子どもの成長がよくわかる。行事に季節感がある。 ・園児数減少に合わせた工夫がされている。 ・保護者が大変協力的、参加の仕方・マナーが良い。	A	・園外保育は体験の幅を広げる大事なものです。大事にして下さい。 ・夏まつりの踊りや各種行事で保護者に見守られていることが、園児に喜びを与え注目されることのうれしさを感じている良い機会になっていると感じました。